

松尾九条の会 ニユース

NO. 14
2018. 9. 20 発行
発行責任者
田中康晴
☎ 391-0852

◆9条の会の役割

戦後73年。安倍一族が安保法制を成立させ、次の国会で、本丸の9条改悪の発議を急いでいる。そんな今8月15日を中心に戦争体験の発言や、広島長崎の被爆者の発言そしてそれを引き継ぐ若い語り部が活躍し発言している。

これらの、又私共国民の戦争を風化させないという動きに後押しされたのだから、今年はマスコミも精力的に、いろんな角度から戦争をとりあげている。

誰の子ども殺さな

い。殺させない。この

闘いに我が9条の会はますます大きな役割を担っているのではないかと。自分の言葉で反戦を語りつくそう。改悪発議を、そして9条改悪を諦めさせるまで。(田中康晴)

◆3000万人署名の状況について

安倍首相が狙う9条改憲に反対する「3000万人署名」が呼びかけられてから1年で、安倍氏が秋の臨時国会で改憲の提案を狙うも、改憲を許さない世論をさらに広げるため、力を合わせて署名を集

めることです。3000万人署名の進行状況は、8月14日現在全国で1850万筆、京都で31万筆、西京では4600筆、松尾では460筆です。あらゆる手段を打って署名を増やしましょう。

団体名	松尾9条の会
活動地域	西京区松尾地域を中心に活動。地域に住んでいる方やその方の友人や嵐山地域に住んでおられる方。(年齢層は高く、40歳代以上)
設立年	2005年(6月結成)
日常的な活動	署名活動、世話人会(月1回)、学習会(毎月5年、10年自記念行事として)、ニュース発行(年1-2回)
署名の工夫	嵐山で年2回署名活動実施。年2-3回、地域訪問実施。
イベント	戦争記念に、舟運士を招いて講演会を実施。9条の結成費を行っている。
代表者名	田中 康晴
事務局名	山田 喜彦



◆事務局ユース

10月6日土9条京都のつどい講演全体会を開きます。場所は龍谷大学響都ホールです。

(京都駅八条口アバンティ9F。午後1時30分開場 午後2時〜4時30分 参加費無料)



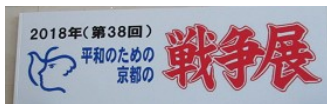
松尾9条の会もあと2年で15周年を迎えます。会員の拡大にご協力ください。(事務局 山田)



◆2018戦争展の感想について

松尾9条の会では今年も戦争展に参加しました。ここではその感想について紹介します。

今年の戦争展は、例年より展示物が少ない感じがしたが、広島の高中生が被爆体験者から聞いた話をもとに描いた絵が多く展示されていたことと京都西陣出水の空襲で犠牲者の遺体が逆さにぶら下がっていたという木の写真展示が印象に残った。年々戦争体験者や傷跡を示すものが少なくなっていくがこのような体験者の体験談や傷跡を示すものは、後世に残し、伝えていかなければならないと感じた。



平和憲法は命を守る
 とがでなかつたのか
 あかした。私
 は微力だが
 無力じゃな
 い。平和の力
 を世界に！

・人間の浅はかさは天に達した。それが写真で見たリ「遠い旅路の物語」、戦争のおそろしさ、特に広島に落とされた「原子爆弾」は世界で初めてだ。
 1945.8.6. 投下
 2〜4か月間で16万6千人死亡。国民が子供、老人、市民が無抵抗で殺さなければいけないのか。今も56万人もの人たちが放射能で苦しんでいる。くやしい、くやしい。何故戦争を事前に話し合いで食い止めることができなかったのか。平和憲法は命を守る



・平和のための京都の戦争展に行ってきた。被爆者の証言をもとに高校生が描いた「原爆の絵」に心を奪われました。トラウマに遺体を積み上げて廃棄する様子など生々しい風景が描かれていたました。「障がい者と戦争」「京都馬町空襲」「青い目の人形」などの資料が展示され多くの人が苦しみにくなられていったことが偲ばれました。改めて平和を祈願しました。

・今回の戦争展の特徴は戦争を知らない世代に分かりやすく戦争の真実を伝えるかに留意したものであったように思う。展示内容については、戦争中における空襲、原爆投下など日本国内における非戦闘民の受けた被害とともに、アジアの各地での従軍慰安婦問題、中国人、朝鮮人強制連行など加害被害の両面を伝える内容になっていた。安倍政権が憲法改悪のために南北戦争や中国の脅威や敵意をあおる中で一層歴史の真実を伝えていくことが大事になっているのではないだろうか。

●被爆体験証言者と高校生との共同制作による「原爆の絵」



爆風で下敷きになり焼かれた軍人の骸骨



私が見た被爆直後の被爆者